（郵信省認可）　（本號六頁）　明治二十二年一月三十日　（定價金二錢）

時事新報

時事新報は一年三百六十五日一日も休刊無し

第二千四百八十九號
明治廿二年一月三十日土曜日
舊暦己丑十一月八日（庚、戌）
日出午前六時三十三分　日入午後五時二十七分
山手線零時四十五分　月入午後
滿潮午前十時四十一分　干潮午後十一時十四分
（西暦一千八百八十九年）

條約改正始末

時事新報は來る十二月二日より條約改正始末と題する社說を連日の紙上に掲げ從來改正の沿革より今度其延期となりたる顚末及び今後の改正方針に就き詳論す

時事新報

横濱の運命

明治十九年以來の紛紜にてさしも難件と世に聞えたる横濱の共有物事件は此程和解濟みと成りさるよし該市全體の爲めよ我輩の一大白を擧げて祝する所なり今日に到り顧みて此紛議の本を尋ぬれば同地の貿易商諸氏が當時商業の擴張を計り共同倉庫、商荷改斤所等を設立する費途に充てんが爲め被の共有財產を處分せんとせしより起りたるものにて詰り横濱繁昌の爲めに思ひ立ちたる事なりしに測らざりき横合より故障起りて本町外十三箇町の市民と貿易商との間に一大城壁を築き足掛け四年が其間交々生ずる紛議に苦められて一刻千金の時を空ふするのみならず正味の金銀を遣ひ捨てたることも亦夥しく餘波延て謂ゆる地主派と貿易商との烈しき軋轢となり横濱の市會が紛擾の末、解散の不始末を全國の自治制に魁したるも此事件大よ與て力ある程なりと云ふ四年の歲月決して短からず此紛議なかりせば其間に好き金てもの翻々ありしみとならん哉ふ可き成功も多く見しみとならんに却て右様なる不幸のみ招きたりとは共有の財物、市民の便益を爲さずして却て貧乏神の役を勤めたるものと云ふ可し貿易商諸氏も本町外十三箇町の人々も今日に於て當初を顧み轉た一夢の如き思ひあるみとならん斯る危險も仲裁の盡力と雙方の讓合とよ依りて和解の運とありたる今日、我輩は之を祝すると共ふ先づ貿易商と地主派とよ向て大に反省を乞はざるを得ざるものあり

抑も自治の制度を我國に行ひしは實に近頃の事ふして第一の貿易地たる横濱の如きは無智の間に世人の大に注目する所あれば其市政の整否如何は全國ふ影響する所決して少なからず同市會等が是迄の不始末は今更云ふ甲斐なし來年ふなりて再び開會に至らば其時みそ市政の整然として他の手本ともなるべき程のものあるべしと尙は願ふを絶たざる者あれども市中の民情今日の如くにては其保證再び易からず國より貿易商も地主派も胸座を叩けば孰れも横濱の幸福を思ふに外ならざれども其說に到りしは共有物事件のみならず種々錚々の行掛りより自ら顧みるふ遑あらざるが故にして其趣は家を思ふ兄弟が家の爲めに爭して不和を生じたるに異あらず愚なるが如くなれども人情世界に珍しからぬ事にして彼の條約改正に就き當派の軋轢も其一例として見る可きのみ最覺勢ふ不和は早晩必ず己れに還りて歸然たる可きものなれば我輩は其時節を待つと同時に亦必ずしも市民の無爲沈默のみを斷る者ふあらず元來横濱の貿易上商賈上の事に就てならば何程に競爭し如何樣に座摩しても苦からず、利に當つては友に譲らず、商賈上の利益とあれば他人を排して自から驚びみろ商人の本色、商機の掛引なれば毫も咎るに足らざるのみか餘響喧嘩の其だしきは即ち横濱繁榮の基として動す可きなれども其爭論時ふ或は實を離れて空に入り商賣變じて政論と爲り又法論となり次第〳〵ふ實利外の人を招き遂には萬遠さかるに從て次第〳〵ふ實利の域ふ金の主人ふして無一錢の學者に致され我れを忘れて共に空論に走り却て大切なる商賈の利益を空ふするが如きは我輩の甚だ悅ばざる所なり横濱の商人頭敏なりと雖も理を說き法を談するに至りては其少小の教育に於て不得意なる所なれば漫に政理法律の新奇を聞いて之に走るは取りも直さず自身の弱點を示すに異ならず既に此方に顚末あり他より之に乘ずる者あからんと欲するも術べけんや即ち商賈の市を變じて政論の社會ふ化せんとするの惡兆なれば貿易商の諸氏も其に其字義の如く貿易商賈に從事して歧路に走るみとを止めしとて先づ獨立の地位を定め自から其身を重んじて又他を侮らず妄動の道を君子にして政談法論の紅塵を避けは以て其身を眞成の商人たらしむるのみなら ず横濱市をして日本全國商賈社會の標準たらしめんみと我輩の切に驚望する所なり共有物の事件幸に紛着したり今後談市の運命は一ふ貿易商の心事如何に關するのみ

雜報

○官有財產　の内にても官有山林の如きは最も其重なる部分にて從來その取締方に就ては種々込入たる議論もあり爲めに當局者も十分注意して顧慮せしかども何分完全なる法律の下に支配せざれば全國各所に手廣く散在せる官有財產の事ゆ名実ふ伴に取締の行屆かざる邊もあり旁々今回その取締法を編制せしものにて目下樞密院の會議中とあれば此議決し次第今年中には發布す可きやに噂させり

○軍艦比叡よりの通信　ふ前略先便ふホノルヽ港より鳥濱通知致し置候通り本艦は去る十五日午後二時豚港を解纜いたし翌十六日午後七時同じ布哇群嶋中のヒーロー港ふ投錨仕候當港は只甘蔗殖産家の爲めに成立する一寒村にして支那人、土人、日本人、歐米人等の家屋一切合して僅々二百五六十戶に過ぎず至て寂寞たるものに御座候當時日本人の移住する者二千餘名あり何れも甘蔗の栽培ふ從事致し居れり明十九日午前八時には當港を開帆して彌々サモア群嶋に向ふ積りにて當港ふ碇泊せしは僅かに二日間其内上陸せしは只六時間にして充分の容子は分ず奉候へども尙は一二探聞せし事もあれば後便ふ可申述候出帆前何か心忙しく只發信のみ報道する云々と同港十月十八日發の通信

○山陽鐵道の未設線降　山陽鐵道は其鉄を神戸ふ發し気賀、舞子、明石、加古川、姫路等の十停車場を經て播州龍野に達する其間四十四哩餘は既に線路にして汽車の往復目下日に十六回なり龍野より前途鐵後尾ノ道港までは線路既に決して現に工事に着手せし塩所あり未ざ着手せざる區域あり猶に着手せんとする所あり要するに未設線路にして多分明年中ふは一切竣工し神戸より尾ノ道迄で僅々數時間ふ到着するの運びに立至る可し今その未設線路の測定せしものを聞くに先づ龍野より有年に出る間には揖保川の大流あり有年ふ又千鶴川あり就れも大鐵橋を要するものにて有年より三石を經て和氣に至る三石和氣間には名にし負ふ鍋坂山の險あり日本に稱有の大隧道を穿たざる可らず（鍋坂隧道の詳況は去る二十二日の本紙上に細記せり）隧道を貫きて和氣に出づその和氣町は西大寺川の上流美作街道の衝に當りて此地方に有名の市街とす和氣より西大寺の大河を渡りて藩山の西北麓を廻り二日市に出で下村を經て始めて本街道沼に出づ左れば線路は三石より北折して山間に入り殆んど備前美作の境を迂廻して愛ふ至り復び本街道に沿ふものと知られたり沼より廉井驛に出で旭川を渡りて備前岡山の北方番町の盡處に至る之れを山陽鐵道姫路岡山間第二區線路とす龍野より岡山までは凡そ四十五哩神戸より合算すれば殆んど九十哩なり岡山より線路西南に向ひ旭川、藤瀬を經て倉敷に出つ倉敷より玉嶋に至る間には東西高梁川に二鐵橋を架す高梁川は其上流一條にして河邊川となり下流は分れて東高梁、西高梁の二線となる山陽鐵道會社の線路は此二川を渡りて此地方に咽喉の線ある備中玉嶋港に出るものあり玉嶋より鴨方を右に見て笠岡ふ出で海岸に沿ふて或は隧道を穿ち或は海中に築堤し以て西濱に達し夫より舊街道の南に田畝小山の間を大門村に出で備後福山に至る福山城下は東西に貫きて西大寺川と共に大河の稱ある芦田川を横ぎり水越驛を經て山間に入り再び今津の海濱に出づ今津よりは絶ふず海岸に沿ふて終に尾ノ道港に達するなり岡山より尾ノ道迄で其間凡そ四十六哩之を山陽鐵道第三區線路とし神戸より尾ノ道を合算すれば凡て百三十五哩餘なり工事の模樣は後日に譲り爰には未設線路の道筋を概記するのみ

○電氣鐵道　東京電燈會社は來年の内國勸業博覽會に際し上野三枚橋より會場の入口迄電氣鐵道を敷設せんとの計畫を爲し兼て其筋へ出願したるも其當時は各府縣物產賣物店を此間の兩側に開かしむる都合なりしかば爲に通路も狹く自然危害を生せんも測り難しとて認可する所とあらず既ては會場の出口より東の方凡そ三四丁の間に敷設するの目論見にて既に其諸器械さへ注文したりと云へば同會は爲に一層の見榮を增すみとなるべしと云ふ

○米國前國務卿の結婚　米國前國務卿ヴィヤード氏は本月七日華盛頓府に於てウィリング　クライマー孃と結婚の式を擧行したり氏は去る十月二十九日滿六十歲の祝宴を開きたれども少しも老年の風なし又クライマー孃は從年合衆國立の宣告書に署名し且つ聯邦の憲法編纂に盡力せしウォーワ　クライマー氏の曾孫女にして三十九年前華府に生れ目下華府の交際社會ふて頗る有名なりと云ふ

○ボアッナード氏　來る十二月一日頃ボアッナード氏が來朝すべき當なりとて同氏の寄稿を受けたる各法律家及び法律學校生徒等は新橋又は横濱まで出迎へる當なりと

○内外商品見本陳列所　大坂府知事西村捨三氏が商工業上の奬勵に熱心なるより同地北區堂嶋濱通三丁目大坂府營業所の空地に一の商品見本陳列所を建築する由は此程の紙上に掲載せしが該計畫に付き農商務外務の兩省に協議の上長を出京せ高厚氏も同事會の模樣する管なり内外貿易上ても已に計ざる由なれ寄せし數多験驗び此品列所建築の已に夫々整迄には落成の豫算なり

左に掲ぐ の記草に改正を懇足るべく 棠々何卒 參考とし

抑も英國の れば百事皆 現に先年迄 は殆んど皆 驗願の者た 殊に議員に を負へる者 實なる可否 議け以て之 ば議員も又 場中と離れ れを街が如 て自ら其職 する議論あ と信ずる時 にして議場 持論の勃々 の面目を保 騷々しき議 る所なるん 寂なる議場 非ずして論 斟酌して以 意あらざる 然るに數年 年來の風潮 議員中議員 を利せんと 旗政の盛潮 れども我輩 を此に論ず 大臣にも問 せんとす 自由を回 けんと欲す